

講師紹介

◆ 趙漢珪 (チョー・ハンギュ)

プロフィール

- 1935年 京畿道水原出生
1965年 農業研修者として渡日、3年間日本の土着農業研究
1966年 省力多収穫農業研究会発足、全国各地に自然農業普及
1992年 日本の農業専門誌「現代農業」に「感の農法」寄稿(21回連載)
1995年 自然農業生活学校及び研究農場開設(忠清北道槐山)
1995年 農協中央会と全国単位農協指導部長(1403名)に対する教育契約締結、環境農業指導機関として自然農業の講習を行う
2004年 毎日新聞・朝鮮日報共催「日韓環境賞」受賞
2008年 趙漢珪地球村自然農業研究院(CGNFI)に改称 院長
・韓国で毎年自然農業基本研鑽會(5泊6日)、専門研鑽會(水稻作、一般作物、果樹、畜産、資材等3泊4日) - 毎年1500~2000名教育
・現在世界30カ国に指導、普及

著書

- 「土着微生物を活かす」「天恵緑汁の作り方使い方」(農文協)
「趙漢珪氏講演録」
「お婆さんのふしぎな畑」(石橋えり子作画) 監修
「はじめよう!自然農業」(創森社) 監修

◆ 幕内 秀夫 まくうちひでお)

プロフィール

1953年茨城県生まれ。東京農業大学栄養学科卒業。管理栄養士。専門学校で栄養教育に携わるが、欧米模倣の教育に疑問をもち退職。以後、伝統食と健康に関わる研究をおこなう。

現在、フーズ&ヘルス研究所代表。学校給食と子どもの健康を考える会代表。プロスポーツ選手の個人指導、社員食堂の改革、保育園、幼稚園の給食改善のアドバイスなどを行う。主な著書に『粗食のすすめ』(東洋経済新報社)、『変な給食』(ブクマン社)、『じょうぶな子どもを作る基本食』(講談社)など多数。

<http://www.8.ocn.ne.jp/~f-and-h/>